

# JICA「気候変動適応策水分野における 政策策定能力向上」研修 現地案内

日時：2012年11月8日(木) 9:00～11:30

場所：六甲砂防事務所、<sup>かぐらいわ</sup>神楽岩えん堤（住吉川上流）など

JICA（独立行政法人 国際協力機構）が行っている「気候変動適応策水分野における政策策定能力向上」研修の一環として、アジア・アフリカなど各国7名の研修生が六甲砂防事務所を来訪されました。

事業の説明では、がけ崩れの対策が必要な場所での工法についての質問が出され、六甲山系グリーンベルト整備事業において、現存する木を極力残すことを考えたコンクリート枠やワイヤ

ーネット

により、斜面を安定させていることを説明しました。

現地案内では住吉川を案内し、住吉川が周辺の住宅地より高い『天井川』であることなどから、阪神大水害（昭和13年）時には大きな被害が出たことを説明しました。

また住吉川上流の<sup>かぐらいわ</sup>神楽岩えん堤では、阪神大水害の直後より造られ、約70年の間、街を土砂災害から守ってきたことを説明しました。

